

謝罪文

甲野花子様

この度は、私の自己本位な振る舞いにより、甲野花様にご迷惑と不快な思いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。心より深くお詫び申し上げます。

私が甲野花様に行った痴漢行為は、甲野花様が受けられました精神的苦痛を考えますと、どのような言葉を申し上げても甲野花様のお心が晴れるものではないと思います。そして私がしてしまった行為は、決して許されるものではないと思います。お詫びすることしかできず、本当に申し訳ございません。

今回の事件は、私がお酒を飲みすぎてしまったことが原因です。しかしくらお酒に酔っていたとはいえ、大人としてあるまじき行動をとってしまったと、己の愚かさを深く反省しております。

現在、私には〇歳になる娘がおります。娘がもし同じ被害に遭ったらと考えると、到底許せるものではありません。しかし、私がしてしまった卑劣な行為に対し、自制できず、甲野花様に深く傷つけてしまったことには変わりはなく、大変重く責任を感じております。

甲野花様に抱かせてしまったお怒りを払拭することは難しいと存じますが、せめてもの謝罪としまして、誠心誠意の賠償をさせていただきたいと考えております。

今後は、事件を起こしてしまった〇駅は利用せず、また付近の沿線も極力利用しないことはもちろんのこと、家族にも協力してもらい再犯防止にむけて監視監督をしてもらい、二度と同じような事件を起こさないことを、固く誓います。

改めて今回の事件で、私の行いが大変なご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。

本当に、申し訳ございませんでした。

令和元年5月15日

鈴木太郎 印